

課題名	メダカ遺伝子機能解析汎用系統の開発
課題管理者	田中 実 自然科学研究機構基礎生物学研究所
実施期間	2007 - 2009 年度
概要・実施体制	任意の遺伝子を体躯の特定領域で誘導発現を可能にするメダカ系統を開発する。発現誘導を可能にする制御領域と誘導因子の特定を試み、これらを含むベクターを作製してその導入法を検討する。この技術とベクターを用い、ドライバー系統のメダカと任意の遺伝子が発現可能と予期される誘導系統メダカを作製し、生体内誘導のための最適条件を見いだす。この開発を基礎生物学研究所・生殖遺伝学研究室が担当する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生物機能モデルと新しいリソース・リサーチツール」エル・アール・シー出版 2011年2月 pp.573-578</li> <li>・ Nakamura et al. <i>Science</i> 2010, 328, 1561-1563 <a href="http://www.sciencemag.org/content/328/5985/1561">http://www.sciencemag.org/content/328/5985/1561</a> プレスリリース : <a href="http://www.nibb.ac.jp/press/100521/100521.html">http://www.nibb.ac.jp/press/100521/100521.html</a></li> <li>・ Nakamura et al., <i>DGD</i> 2008 50, 415-417 <a href="http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1440-169X.2008.01027.x/full">http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1440-169X.2008.01027.x/full</a></li> </ul>